

ふるさとひょうご寄附金

兵庫陶芸美術館「最古の登窯焼成公開事業」へのご寄付と活用事業のご報告(令和元年度)

ふるさと納税制度による令和元年度ふるさとひょうご寄附金の県立美術館・博物館応援プロジェクト「兵庫陶芸美術館・最古の登窯公開焼成事業」に多くの皆様からのご賛同、ご支援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今後とも引き続き応援をよろしく申し上げます。



1 令和元年度(平成 31 年度)の寄附申出状況は次のとおりです。(2年3月末現在)

件数	金額
21件	527,500円

2 次の事業を実施し、大切にに使わせていただきました。

(1) やきものづくりと最古の登窯の焼成体験の開催

親子で、やきものづくりと薪くべなど最古の登窯での焼成体験を行うこの事業。昨年5月4日、1300度に達する登り窯の炎を体感し、薪入れという貴重な体験をしました。残念ながら今年3月に予定していたやきものづくりは、新型コロナウイルスの関係でやむなく中止となりました。



(2) 最古の登窯焼成の公開とおもてなし

3日間の最古の登窯の焼成期間を通して、一般の方に自由に見学いただくとともに、丹波焼の里サポーターの協力を得て現場での案内解説や見学者へのおもてなしを行いました。



(3) 子どもたちにやきものづくりの感動を届ける出前講座の開催

丹波焼の里へ出向くことが困難な小学校などを対象に丹波立杭伝統工芸士会と陶芸文化プロデューサー、兵庫陶芸美術館が連携して学校へ出向き、やきものづくり体験を行う出前講座。元年度は多くの学校の依頼を受け好評を得ました。

子どもたちは、伝統工芸士の実演に感動し、自らも眼を輝かせて器づくりに挑戦しました。焼き上がった作品にとっても喜んでいただとの連絡も受けています。



3 今後の予定

新型コロナウイルス感染症の関係で兵庫陶芸美術館の休館や諸事業の中止・変更が続いています。2020年5月に予定されていた最古の登窯焼成も延期されることになりました。

新型コロナウイルスの影響はしばらく続きそうですが、最古の登窯を活用した事業については環境整備や出前講座を含めこれからも積極的に取り組んでいきます。